

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

運用実績等

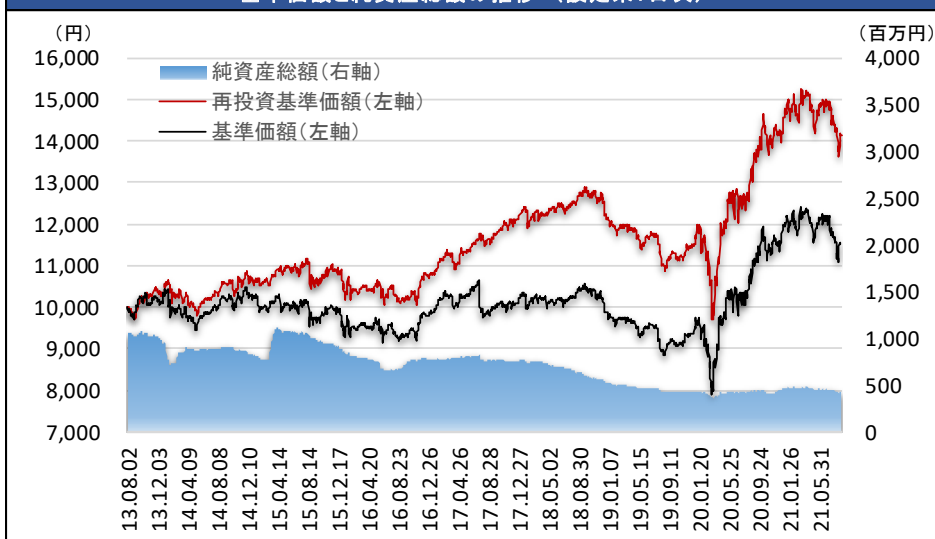
ファンド概要

設定日	2013年08月01日
信託期間	2023年10月30日
決算日	毎年1月,4月,7月,10月の各28日(年4回)
信託報酬率	年 1.155% (税抜 年 1.05%)
基準価額	11,506円
純資産総額	426,194,728円

※投資対象とする外国投資信託証券にも別途信託報酬等がかかり、信託報酬の実質的なご負担は年2.629%程度となります。

※決算日が休業日の場合は翌営業日となります。

基準価額と純資産総額の推移 (設定来:日次)



※基準価額は、実質的な信託報酬(年率概算(税込)2.629%)控除後の値です。

※再投資基準価額の推移は、税引前分配金を全額再投資したものととして算出しているため、実際の受益者利回りと異なります。

期間収益率

過去1ヶ月	-2.61%
過去3ヶ月	-4.45%
過去6ヶ月	-4.52%
過去1年	+8.74%
過去3年	+11.69%
設定来	+41.38%

※税引前分配金を全額再投資したものととして計算しています。

資産構成

ケイマン籍外国投資信託(円建て) 「とこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンド」	97.77%
ユニテッド日本債券ベビーファンド (適格機関投資家向け)	0.49%
現金等	1.73%
合計	100.00%

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

※ユニテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)の運用基本方針は、主要投資対象であるユニテッド日本債券マザーファンドへの投資を通じて、わが国の債券に投資し、信託財産の長期成長を目指して、積極的な運用を行います。

※追加設定の計上タイミングと投資対象の購入処理等のタイミングのずれ等により、比率が100%をこえる場合があります。

分配実績(1万口当たり、税引前)

設定来合計	2,100円
第30期(2021年01月28日)	0円
第31期(2021年04月28日)	0円
第32期(2021年07月28日)	0円

※直近3期分(1万口当たり税引前の金額)

ハイ・ウォーターマーク

次回計算期間の終了日まで	12,039円	※決算日前営業日の公表基準価額が翌期のハイ・ウォーターマークに更新されます。
--------------	---------	--

※決算日に収益分配金が発生した場合には、決算日前営業日の公表基準価額から収益分配金を控除した価額が、翌期のハイ・ウォーターマークとなります。

※信託報酬のほか、実績報酬を設けており、超過収益が発生した場合には収益の5.5%(税抜5%)が各決算日および償還時に支払われます。なお、実績報酬は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示することはできません。

※計算期間中にファンドの解約をした場合には、解約価額(基準価額公表から信託財産留保額を控除した額)が既に実績報酬を含んで算出されておりますので、追加で実績報酬が発生することはありません。



あなたに最適な
資産運用を。

ファイブスター
投信投資顧問

※ 後述の「当資料のご留意点」を必ずご参照下さい。

AB311138-MR210831C

1/9ページ

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

投資対象の投資信託証券の運用概況

ケイマン籍外国投資信託(円建て)「とこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンド」

ファンドの特色

- 投資信託証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場する株式の買建て(ロング)と売建て(ショート)を行い、株式市場の変動による影響を軽減しつつ、信託財産の中長期的な成長を目指します。
- 投資銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチにより投資銘柄を選定します。

エクスポージャー	ロング・ポジション	ショート・ポジション
L/S エクスポージャー	94.74%	-11.12%
グロス・エクスポージャー	105.86%	
ネット・エクスポージャー	83.62%	

流動性	ロング・ポジション	ショート・ポジション
1日	99.09%	100.00%
3日間	99.48%	100.00%
5日間	99.67%	100.00%

※流動性は、25日平均出来高の20%を売買することを前提として、保有するポジションを全て解消した場合にかかる目安を表しています。

保有銘柄数	ロング・ポジション	ショート・ポジション
188 銘柄	184 銘柄	4 銘柄

※保有銘柄数は、組入れの株式と上場投資証券の数を表示しています。

時価総額別	ロング・ポジション	ショート・ポジション
5,000億円超	36.92%	-0.59%
2,000億円～5,000億円	12.04%	0.00%
500億円～2,000億円	23.09%	-0.29%
200億円～500億円	14.40%	-0.99%
200億円以下	8.29%	0.00%
株価指数先物等	0.00%	-9.25%

銘柄別組入れ上位5銘柄

ロング・ポジション						ショート・ポジション	
No.	銘柄コード	銘柄名	業種等	市場	純資産比	業種等	純資産比
1	4483	JMDC	情報・通信業	東証M	2.11%	株価指数先物	-9.17%
2	6035	アイ・アールジャパンホールディングス	サービス業	東証1	1.84%	小売業	-0.60%
3	6861	キーエンス	電気機器	東証1	1.54%	電気機器	-0.59%
4	2158	FRONTEO	サービス業	東証M	1.29%	小売業	-0.38%
5	6697	テックポイント・インク	電気機器	東証M	1.28%	小売業	-0.29%

※上記内容は、組入れ銘柄の紹介を目的として作成しましたが、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

※上記内容は、作成基準日における情報を元に作成していますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。

※当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

※業種については、東証33分類をもとに分類しております。

ユニテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)

(出所) あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドへの組入れ比率

0.49%

組入れ上位銘柄

No.	銘柄名	比率
1	第130回利付国債(20年) 2031年9月償還	74.36%
2	第127回利付国債(20年) 2031年3月償還	22.37%
3	iシェアーズ・コア日本国債ETF	3.27%
4	(余白)	
5	(余白)	

※比率は「ユニテッド日本債券マザーファンド」の組入れ資産を100%として計算しています。

今月の投資環境など

当ファンド8月の騰落率-0.31%となりました。

8月の国内債券市場は上昇(金利は低下)しました。

10年国債利回りは、前半、良好な米雇用統計等を受けた米長期金利の上昇が波及し、大きく上昇する局面があったものの、後半は、新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、日銀の大規模な金融緩和策がしばらく維持されるとの見方などから、利回りの上昇圧力は限定的でした。

この結果、当月末の10年物国債利回りは、前月末から上昇し、0.02%近辺となりました。



あなたに最適な
資産運用を。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

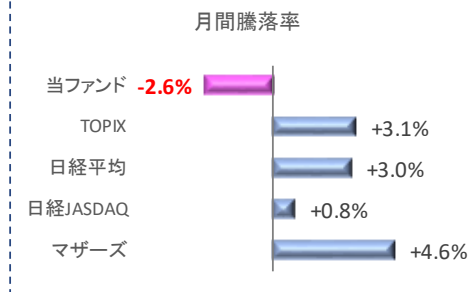
ファイブスター投信投資顧問株式会社

マンスリーコメント

市況概況

日本株については、日経平均株価+3.0%、TOPIX+3.1%、中小型株については、東証マザーズ指数+4.6%、日経JASDAQ平均+0.8%となりました。

3月決算企業の第一四半期業績が好調に推移した中で、新型コロナウイルス感染者数の増加と、日本株市場の夏枯れ現象で、中旬には中小型株中心に株価は軟調に推移しました。19日のトヨタ減産報道の後、大型株の一角も崩れる展開となりました。しかし、23日から突如としてグロース株中心に株価が上昇し、FRB（連邦準備制度理事会）のジャクソンホール会合も無難に通過して、結果的に月全体としては株価上昇の形で終わりました。総じて言えば、中旬までは流動性低下による筋の悪い相場が続きましたが、後半は世界的な株価上昇を背景として、日本株もようやく再び上昇基調に入ったという機運が高まる推移となりました。



※上記記載の株価指数は配当込み指数ではありません。

運用概況

今月の当ファンドの基準価額は、前月末比-2.61%の下落率（再投資基準価額ベース）となりました。

まず、月中の日本株の動きについては、月初では日経平均株価で27,000円から29,000円というレンジでの強気の展開を予想していたのに対し、8月実績は、安値26,954円、高値28,279円、終値28,089円と、結果的に前月比で上昇したものの、振幅が大きく、かつ、一時は予想株価レンジの下限を下回り、予想比で低調な推移となりました。特に、中旬までの流動性低下は顕著で、中小型株のパフォーマンス悪化の一因となりました。

当月の日本株のセクター別パフォーマンスは、騰落率上位が、海運（2か月連続首位）、鉄鋼、精密機器で、石油・石炭、パルプ・紙、非鉄金属がワーストパーフォーマーとなりました。ファクター的には、大型・小型ともグロース株優位・バリュー株劣位が目立ち、高PER（株価収益率）、高PBR（株価純資産倍率）、低信用リスクの躍進で窺えるように高クオリティ株優位の展開となりました。

その中で、当ファンドでは、第一四半期決算を吟味した上で、まずロングサイドにおいては、バリュー株・グロース株の別に囚われず、中小型株を含んだ上での自然体での銘柄選択を行いました。一方で、株価上昇局面では大型株主導の展開になることを予想し、大型株の一定の保有割合を維持するよう意識しました。一方、ショートサイドは、日本株全体の株価上昇の可能性を高く見ていたことから、ポジション量を意識的に絞り、株価調整の確信度が高い小売りセクター等に的を絞った形を継続しました。これにより、ネットロング比率を一貫して高めに推移させました。その考え方自体は必ずしも間違っていたとは思いませんが、当月は月初から中旬にかけて、一部ロングサイドでの保有銘柄が、決算発表後に急落した上に、中旬までは中小型株が不振を極め、運用に苦難致しました。最終的には、中旬までの劣勢の中でポジションを大きく変えることはせず、逆に中小型株の一角を買い戻すなどして、下旬の株価上昇に乗り、挽回する形にはなりました。しかし、中旬までの対処には課題を残したという意味で、来年夏の運用に際しては、この教訓を活かして参りたいと存じます。



あなたに最適な
資産運用を。

ファイブスター
投信投資顧問

※ 後述の「当資料のご留意点」を必ずご参照下さい。

AB311138-MR210831C

3/9ページ

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

マンスリーコメント

今後の運用方針

今年は、年始に企業業績の大幅上振れ、世界的な脱炭素の流れの加速を通じた製造業の復権、新型コロナウイルス問題の軽減、という3つの大きなポジティブ要因を背景に、米国での金融緩和縮小という主要ネガティブファクターを吸収する形で、日経平均株価で35,000円到達(昨年末27,444円から28%上昇)という大幅な日本株の上昇を予想しておりました。

その大枠は概ね想定通りに動いている一方で、今年ほどネガティブファクターが頻出する年は珍しく、これらの「ノイズ」に日本株は悩まされてきました。具体的には、年始のロビンフッド問題から始まり、米国金利上昇、米投資会社アルケゴス問題、年金売り、米国金利低下による成長懸念、日本でのワクチン接種遅れ、世界的な新型コロナウイルス変異種拡大、度重なる緊急事態宣言、与党の支持率低下、アフガニスタン問題などが挙げられます。この7月から8月は、例年にも増して流動性の低下が見られ、一部中小型株への過度の売り圧力も見られました。様々なネガティブ要因が発生することは、金融市場で普通に起こることです。しかし、今年が異常だと思えるのは、想定外の要因の大半がネガティブ材料で、想定外のポジティブ要因がほとんど発生しないということです。これが、日本株低迷の背景になっていると思われます。

以上を考慮して、7月末の段階で、まずはリスク面を強く意識した相場予想・ポジション構築を行う方向性に変更致しました。具体的には、以下の6つのリスクを意識し、当面の株価目標も「まずは30,000円達成」に修正することにしました。

- ①世界的金融緩和縮小
- ②米中摩擦(米国での中国企業との取引制限、中国企業の米国上場規制)
- ③衆院選における自公与党の敗北リスク
- ④新型コロナウイルス収束までの残存リスク
- ⑤中国政策リスク(ゲーム業界、学習塾等の特定業界への規制強化)
- ⑥来期成長鈍化の可能性が意識されていること

上記リスク要因のどれがどのような形で顕在化するかは不透明であり、その組み合わせによっては、確率的には極めて低いものの、株価の底割れの可能性は否定できなくなります。

一方で、日本企業の第一四半期決算は好調に推移しております。期初に想定されていた東証一部企業の今期増益率+30%から+40%について、上振れの可能性まで出てきており、PERの観点からの割安感が浮き彫りになっています。

以上を勘案して、9月の日本株については、ドル円108円から112円前提で、まずは日経平均株価で28,000円から29,000円のレンジでの推移を予想します。その後、年末にかけての30,000円超えを予想します。

その上で、当ファンドでは、短期的には、衆院選で与党が議席の過半数を維持できるとの前提の下で、中国での規制強化リスクを嫌気した資金の日本へのシフト、外国株投資のリスクヘッジとしてショートされる傾向の強い日本株の買い戻し、宗教的制約の少ない日本でのワクチン接種率が他国を上回る可能性、などの材料を予想します。それらを考慮すると、外国人による日本株選好の高まりが予想され、それが大型株主導の株価上昇につながる可能性が高いと予想されます。

これを念頭に置き、ロングサイドにおいては、まずは大型株主導の波に乗る体制を意識した運用を行って参ります。ただし、中小型株についても、東証マザーズ指数が年初来でマイナスになっていることから窺えるように、一般論として割安感が感じられます。したがって、銘柄を精選しながら割安な高成長中小型株への投資は継続して参ります。加えて、ワクチン接種率の動向を横目に見ながら、2019年末の株価水準を下回っているようなリオープン銘柄への投資比率の引き上げも検討して参ります。



あなたに最適な
資産運用を。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

投資リスク等

基準価額の変動要因

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券などに実質的に投資しますので、当ファンドの基準価額は変動します。

したがって、受益者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドおよび当ファンドが投資する投資信託証券の基準価額の変動要因の主なもの、以下の通りです

当ファンドの基準価額の変動要因の主なもの、以下の通りです。

有価証券の株価変動リスク

当ファンドは、実質的に国内の株式等を主要投資対象としますので、当ファンドの基準価額は、当該株式等の価格変動の影響を大きく受けます。株式等の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、発行企業の業績・経営状況の変化等により変動します。その影響により株式等の価格が下落した場合、当ファンドの基準価額が値下がりする要因になります。

「ロング・ショート戦略」固有のリスク

当ファンドが投資する外国投資信託は、株式の売建て(ショート)を行いますので、売建て(ショート)した株式の価格が上昇した場合にも当ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼし、場合によっては、売建て(ショート)の特性上、損失が想定以上になることもあります(また、株式を売建て(ショート)するにあたり、借入れコストがかかります。)。当ファンドは、株式市場全体の動向から影響を抑制する運用を行います。その影響がなくなるわけではありません。また、買建て(ロング)、売建て(ショート)する株式のリターン動向について見通しを誤れば基準価額が下落する要因となり、場合によっては大幅に下落する場合があります。

信用リスク

有価証券の発行体において、経営不振、その他の理由により債務不履行が発生した場合、またはそうした事態が予測される場合等には、当該発行体が発行する有価証券の価格は大きく下落し、基準価額が値下がりすることがあります。

流動性リスク

組入る有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場規模の縮小や市場動向によっては、組入る有価証券が当初期待される価格での取引もしくは機動的な売買ができないことがあり、当ファンドの基準価額に悪影響を及ぼすことがあります。

解約による資金流出に伴うリスク

一部解約金の支払資金を手当てするために、当ファンドが投資する投資信託証券において、組入れている有価証券等を大量に売却する場合があります。この場合、市場規模や市場動向によっては、有価証券等を当初期待された価格で売却できないことがあり、当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※(ご注意)以上は、基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。

あなたに最適な
資産運用を。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ご留意点等

その他のご留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ制度)の適用はありません。
- 当ファンドが投資する外国投資信託においては、投資銘柄の選定に関して、国内の投資顧問会社から助言を受けます。このため、当該投資顧問会社の業務または財産の状況の変化、助言担当者の交代、その他の理由により、運用に支障が出る場合があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です

分配方針

年4回(毎年1月、4月、7月および10月の各28日(休業日の場合は翌営業日))に決算を行い、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準・市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。
- 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。

※運用状況により分配金額は変動します。※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

当資料のご留意点

- 本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社で作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



あなたにベストな

資産運用を。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認下さい。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

お申込メモ

購入単位	1口または1円単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額(1万口あたりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金(解約)受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として換金(解約)受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	午後3時までで、販売会社が受け付けた分を当日のお申込み分とします。
購入・換金 申込不可日	以下の日においては、購入および換金(解約)のお申込みができません。 ・ロンドンもしくはダブリンの銀行休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、1億口または1億円以上の換金(解約)請求は、正午までをお願いします。
購入・換金・申込受付の 中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金(解約)の受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金(解約)申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	原則として2023年10月30日までです。(2013年8月1日設定)
繰上償還	投資する投資信託証券が存続しないこととなる場合は、信託を終了させます。また、次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合 ・やむを得ない事情が発生したとき ・繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき
決算日	毎年1月、4月、7月および10月の各28日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年4回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
信託金の限度額	信託金の限度額は1,000億円です。
公告	原則として、電子公告の方法により行い、委託会社のホームページ(https://www.fivestar-am.co.jp/)に掲載します。
運用報告書	毎年1月と7月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。



あなたに最適な

資産運用を。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認下さい。

AB311138-MR210831C

7/9ページ

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額に、上限を 3.30%(税抜 3.0%) として、販売会社が定める料率を乗じて得た額とします。 ※ 購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。
信託財産留保額	1万口につき換金(解約)受付日の翌営業日の基準価額に対して 0.30% の率を乗じて得た額を、ご換金(解約)時にご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<p>ファンドの日々の純資産総額に年 1.155%(税抜 年 1.05%)の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期間末日または信託終了のときに、信託財産から支払われます。</p> <table border="1"> <tr> <td>当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)</td> <td>年 1.155% (税抜 年 1.05%)</td> <td>運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">配分</td> <td>委託会社</td> <td>税抜 年 0.31%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>税抜 年 0.70%</td> <td>運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>税抜 年 0.04%</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価</td> </tr> <tr> <td>投資対象とする投資信託証券</td> <td>年 1.4738%(税抜 年1.473%)程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実質的な負担※</td> <td>年 2.629%(税抜 年2.523%)程度</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 当ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬について算出したものです。</p>			当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)	年 1.155% (税抜 年 1.05%)	運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率	配分	委託会社	税抜 年 0.31%	委託した資金の運用の対価	販売会社	税抜 年 0.70%	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価	受託会社	税抜 年 0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価	投資対象とする投資信託証券	年 1.4738%(税抜 年1.473%)程度		実質的な負担※	年 2.629%(税抜 年2.523%)程度	
当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)	年 1.155% (税抜 年 1.05%)	運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率																				
配分	委託会社	税抜 年 0.31%	委託した資金の運用の対価																			
	販売会社	税抜 年 0.70%	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価																			
	受託会社	税抜 年 0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価																			
投資対象とする投資信託証券	年 1.4738%(税抜 年1.473%)程度																					
実質的な負担※	年 2.629%(税抜 年2.523%)程度																					
実績報酬	<ul style="list-style-type: none"> 運用の実績に応じて実績報酬が発生します。 実績報酬は、毎決算時における過去最高値の基準価額をハイウォーターマークとし、基準価額がハイウォーターマークを上回った場合、その超過額に対して5.5%(税抜5%)を乗じて算出します。 当該実績報酬は、日次で計算され、日々の基準価額に反映されます。 当該実績報酬は、毎決算時および信託終了のときに信託財産中より支払われます。 <p>※ 当該実績報酬は、委託した資金の運用の対価です</p>																					
その他の費用・手数料	<p>以下の費用・手数料等は、信託財産中から支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 組入価証券取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等) 信託財産に関する租税 監査費用 計理およびこれに付随する業務に係る費用 目論見書等の作成および交付に係る費用 運用報告書の作成および交付に係る費用 公告に係る費用 法律顧問および税務顧問に係る報酬および費用等 <p>なお、投資対象の投資信託証券においても同様の費用がかかり、当該投資信託証券の信託財産から支払われます。また、株式を売建て(ショート)するための借入れコストおよび毎月の基準価額の高値更新分に対して15%の実績報酬がかかります。</p> <p>※監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。 ※これらの費用等は、運用の状況等により変動するため、料率、上限等を予め表示することはできません。</p>																					



あなたに最適な

資産運用を。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認下さい。

AB311138-MR210831C

8/9ページ

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2021年08月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの関係法人

委託会社: 信託財産の運用指図等を行います。

委託会社の照会先

ファイブスター投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2266号

一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員

ホームページアドレス

<https://www.fivestar-am.co.jp/>

お客様デスク

03-3553-8711

(受付時間:委託会社の営業日の午前9時~午後5時まで)

受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

販売会社: 受益権の募集・販売の取扱い、換金(解約)事務、換金代金・収益分配金・償還金の支払い等を行います。

販売会社の名称等

お取り扱い 販売会社一覧		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
今村証券株式会社	金融商品 取引業者	北陸財務局長 (金商)第3号	○			
アーク証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第1号	○			
あかつき証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第67号	○	○	○	
松井証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○		○	

※加入している金融商品取引業協会を○で表示しています。

※上記の表は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から細心の注意を払い作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。



あなたに最適な

資産運用を。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご確認下さい。

AB311138-MR210831C

9/9ページ